

## ACCESS MAP



### 電車でお越しの方

○ 都営三田線	御成門駅 (A5出口)	徒歩約3分
○ 日比谷線	神谷町駅 (3番出口)	徒歩約7分
	虎ノ門ヒルズ駅 (A1出口)	徒歩約9分
○ 銀座線	虎ノ門駅 (1番出口)	徒歩約10分
○ 銀座線 ○ 都営浅草線	新橋駅 (8番出口)	徒歩約12分
○ JR	新橋駅 (烏森口)	徒歩約12分

### バスでお越しの方

- 東98系統  
東京駅南口→慈恵会医大前←等々力操車場  
(約20分) (約50分)
- 港区コミュニティバス「ちいばす」  
新橋駅～田町駅東口(芝ルート)  
※新橋駅から慈恵大学病院まで約15分  
「慈恵医大病院入り口」下車

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18  
TEL.03-3433-1111(大代表)

THE JIKEI UNIVERSITY HOSPITAL



## 東京慈恵会医科大学附属病院 母子医療センター



「こどもたちの健やかな明るい未来のために」

国際性溢れる東京都心の総合周産期母子医療センターとして  
24時間365日、良質な母子医療に専心いたします。

# 東京慈恵会医科大学附属病院 母子医療センター のご紹介

## 総合周産期母子医療センターとしての役割

総合周産期母子医療センターは、母体胎児集中治療室(MFICU)を含む産科病棟、及び新生児集中治療管理室(NICU)を含む新生児病棟を備え、常時の母体及び新生児搬送の受け入れ体制を有して、合併症妊娠、重症妊娠高血圧症候群、切迫早産、胎児異常等の母体、又は児におけるリスクの高い妊娠に対する医療、及び高度な新生児医療等の周産期医療を行える医療施設であります。地域周産期医療関連施設等からの救急搬送を受け入れるなど、周産期医療体制の中核として地域周産期母子医療センターその他の地域周産期医療関連施設等との連携を図っています。さらに、東京都の中央部だけでなく区南部、区東北部、区西部ブロック内で母体搬送の受け入れが困難だった場合に、各ブロックの総合周産期母子医療センターからの搬送受け入れに協力しています。また、現在は、港区、中央区の精神疾患合併妊産褥婦やCOVID-19等感染症対応の妊産褥婦の受け入れを行い、対応可能な範囲で他ブロックからも受け入れを行う役割も担っております。

## 最前線の小児・周産期 専門医療

首都圏の地域小児周産期医療の中核として救急やリスクの高い症例に対応します。



## 産科と小児科が連携した 総合的なチーム医療

産科、小児科はもちろん、関係部門が連携して、母子に一貫したチーム医療を提供します。



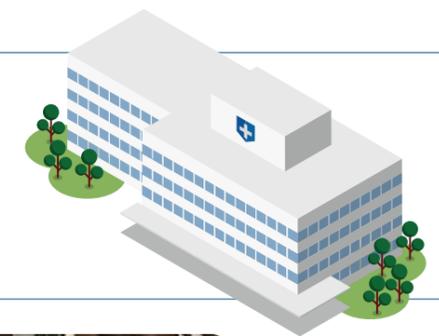
## 充実した産前・産後ケア

臨床心理士やソーシャルワーカーと連携し、お母さんや赤ちゃん、ご家族への多面的な支援を行っております。



## 施設認定

- ◆ 東京都周産期医療ネットワーク:総合周産期母子医療センター
- ◆ 日本周産期新生児学会専門医制度研修基幹病院認定
- ◆ 日本集中治療医学会ICU症例登録システム(JIPAD)事業参画
- ◆ 東京都小児がん診療協力病院、日本小児がん研究グループ(JCCG)多施設共同臨床試験参加
- ◆ 日本小児循環器学会修練施設



## 当センターの特色

### 総合周産期母子医療センターとしての役割

- ◆ 母子の安全を最大限考慮した無痛分娩
- ◆ 母体胎児集中治療室の新設と新生児集中治療室(NICU)拡充によるハイリスク妊娠、母体搬送の100%応需
- ◆ 麻酔科医による無痛分娩の提供

### 包括的高次小児医療センターとしての医療

- ◆ 小児ガンにおける骨髄移植などの小児科重症疾患の内科治療
- ◆ 小児集中治療(PICU)の実践
- ◆ 小児外科系専門チームによる手術治療

## 産科・周産期部門 Obstetrics / Perinatal Department

母体胎児集中治療室の新設と新生児集中治療(NICU)拡充とともに母体及び新生児搬送受入体制を整え、合併症妊娠(重症妊娠高血圧症候群、切迫早産等)、胎児・新生児異常(超低出生体重児、先天異常児等)に対するハイリスク周産期医療の充実、無痛分娩の導入など首都圏の総合周産期母子医療センターとしての責務を担います。



詳細はこちら

## 産科・周産期部門



### 診療内容

- ◆ 一般妊婦健診・出産管理
- ◆ ハイリスク妊娠・出産管理
- ◆ 胎児診断、胎児異常妊娠・出産管理
- ◆ セミオープンシステム

### 得意分野・特色

大学附属病院特有の豊富なマンパワーを活かし、産科救急疾患や様々な合併症妊娠、胎児・新生児異常への対応が可能です。他にも産科麻酔科医師との共同による無痛分娩の実施、セミオープンシステムの導入などを通じ、首都圏の総合周産期母子医療センターとしての責務を担い、患者様への貢献を目指していきます。

## 麻酔部



### 診療内容

- ◆ 麻酔科医による無痛分娩前の外来
- ◆ 硬膜外麻酔を中心とした無痛分娩
- ◆ 合併症のある妊婦さんの帝王切開

### 得意分野・特色

麻酔科医が産科麻酔外来で事前に説明しており、チームを組んで担当いたします。硬膜外麻酔を中心として安全で快適な無痛分娩を提供いたします。担当時には産科病棟に常駐しております。さらに合併症のある妊婦さんの帝王切開の麻酔も担当いたします。

## 小児科部門 Pediatrics Department

小児科部門では、出生前小児科から思春期・成人に至るまでのあらゆる年齢の患者さんに対応が可能な診療体制をとっております。さらに小児外科、小児脳神経外科、小児心臓外科、形成外科、泌尿器科、整形外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科などの外科系スタッフとの協力体制を基盤においた総合的な小児包括医療を推進しております。



詳細はこちら

### 未熟児・新生児



#### 診療内容

- ◆ 早産児、低出生体重児
- ◆ 新生児呼吸障害
- ◆ 重症新生児仮死（脳低温療法）
- ◆ 新生児外科疾患

#### 得意分野・特色

東京慈恵会医科大学附属病院NICUは総合周産期母子医療センターの認定を受けており、都内外に関わらず、早産児、出生体重1500g未満の極低出生体重児を積極的に受け入れています。また、移動リスクが高い極低出生体重児、重度の呼吸障害を合併した新生児等の手術を安全に行えるように、NICU内に手術室を整備しています。

### 小児アレルギー疾患



#### 診療内容

- ◆ 食物アレルギー
- ◆ アナフィラキシー
- ◆ アトピー性皮膚炎
- ◆ 気管支喘息・アレルギー性鼻炎・結膜炎

#### 得意分野・特色

小児アレルギーチームは、アレルギーを持つ子どもへ全人的な診療を行います。我々はアレルギーをもつ子どもとその家族の生活を第一に考え個々に合わせた診療で子供達のアレルギーの克服を目指しております。アレルギー症状に関して日常的に悩まれていることについて、チーム全体で丁寧にご説明いたします。

### 小児血液腫瘍疾患



#### 診療内容

- ◆ 白血病・悪性リンパ腫
- ◆ 神経芽腫・腎芽腫・肝芽腫・網膜芽腫
- ◆ 血小板異常・血友病などの凝固異常症
- ◆ 脳脊髄腫瘍

#### 得意分野・特色

当院は東京都小児がん診療病院で、多診療科の連携の下、集学的治療を行っています。日本小児がん研究グループ(JCCG)の臨床試験に積極的に参加しております。小児がんの治療終了後の長期フォローや血友病などの先天性凝固異常症では小児から成人までの患者さんのライフサイクルに合わせた医療の提供を行っています。

### 小児循環器疾患



#### 診療内容

- ◆ 先天性心疾患
- ◆ 不整脈
- ◆ 川崎病冠動脈瘤
- ◆ 心筋炎・心筋症

#### 得意分野・特色

先天性心疾患を中心に診療にあたっています。周産期施設のため胎児期より治療計画をチームで協議し綿密な診療を行っています。診療室には超音波検査機器が常設され迅速かつ正確な診断を心がけています。更に成人診療科と情報を共有しつつ長期に渡る管理を行っています。術後の胸郭変形に対して矯正外来も行っています。

### 先天代謝異常疾患



#### 診療内容

- ◆ 先天代謝異常症
- ◆ 小児の遺伝性疾患
- ◆ 新生児マススクリーニング対象疾患
- ◆ 小児肝臓・消化器疾患

#### 得意分野・特色

脂肪酸代謝異常症、有機酸血症、ライソゾーム病、シトリン欠損症など代謝異常症の診断や、酵素補充療法などの新規治療法も取り入れながらフォローアップを行っています。新生児マススクリーニング陽性症例や遺伝的な診断困難症例なども、先進的な診断技術や治療法を取り入れながら治療を行っています。

### 小児内分泌疾患



#### 診療内容

- ◆ 低身長症（低身長を来す様々な疾患）
- ◆ 甲状腺疾患（クレチン症、バセドウ病）
- ◆ 思春期早発症
- ◆ 糖尿病（1型、2型）および肥満症

#### 得意分野・特色

内分泌外来では低身長を来す疾患の中でも成長ホルモン分泌不全性低身長症、SGA性低身長症、ターナー症候群、ヌーナン症候群の患者さんに成長ホルモン治療を行っています。最近では軟骨無形成症に対してCNP製剤による治療を開始しております。また、甲状腺疾患や思春期早発症に関しても多くの患者さんを診察しております。

### 小児神経疾患



#### 診療内容

- ◆ てんかん、他の発作性疾患、不随意運動
- ◆ 認知・行動・運動等の発達の異常
- ◆ 意識や歩行の障害、筋力低下、頭痛、他
- ◆ 脳炎・脳症、けいれん重積等の急性疾患

#### 得意分野・特色

脳・脊髄・末梢神経・筋の幅広い症候に対応いたします。発達を考慮した専門的評価を行い、重症度によらず適切かつ丁寧な対応に努めます。さまざまな領域の基礎疾患に対応するため、適宜他の専門診療班、職種、医療機関とも連携し、包括的に診療いたします。特にてんかんは脳神経外科、精神科と連携し、診療段階に関わらず対応します。

### 小児腎・泌尿器疾患



#### 診療内容

- ◆ 学校検尿異常
- ◆ 夜尿症、昼間のお漏らし
- ◆ 尿路感染症
- ◆ 糸球体腎炎、ネフローゼ症候群

#### 得意分野・特色

私たちの外来では、学校健診などで見つかった尿検査異常のお子様はもちろんのこと、胎児期に見つかった先天性の腎尿路異常（構造異常）を疑われているお子様、そして糸球体腎炎やネフローゼ症候群など幅広い診療を行っています。また、近年治療方法が確立されてきました夜尿症や昼間のお漏らしも積極的に治療を行っています。

### 小児集中治療部門



#### 診療内容

- ◆ 小児科専門医による重症管理ユニット
- ◆ 外科系疾患の周術期管理
- ◆ ECMO・血液浄化療法等の特殊治療
- ◆ 陰圧個室による重症感染症の集中治療

#### 得意分野・特色

24時間小児科専門医が診療にあたります。対象年齢は新生児から成人期に至り、外科系疾患の周術期管理に留まらずに痙攣重積の管理や先天代謝異常に伴う血液浄化療法など多岐に渡ります。他施設からのインフルエンザやCOVID-19などの重症感染症に対しても陰圧個室収容による管理を行っています。



## 小児外科系部門 Pediatric Surgery Department

すべての外科系疾患に対する専門外来と多部門診療チームによる、365日24時間急患対応を実践

母子医療センターでは小児外科系専門診療部(小児外科・小児脳神経外科、心臓外科、形成外科)を擁するとともに、小児・新生児集中治療室(PICU/NICU)やその他の外科系診療科(泌尿器科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科)など関連部門との連携により小児の外科手術を要するすべてのお子さんに対するグループ外来診療・チーム医療による入院治療を行っています。



詳細はこちら

### 小児外科



#### 診療内容

- ◆ 出生前診断された外科疾患・新生児外科疾患
- ◆ 小児内視鏡外科手術
- ◆ 専門外来(小児泌尿器・漏斗胸・舌小帯短縮、など)
- ◆ 成人外科グループとの治療連携

#### 得意分野・特色

出生前診断された新生児外科疾患の治療経験が豊富です。創の目立たない手術(内視鏡外科手術・臍を利用した小開腹手術を推奨し、内視鏡外科手術は2名の技術認定医が中心に手術を行います。小児泌尿器疾患(水腎症・膀胱尿管逆流、等)も取り扱い。漏斗胸・舌小帯診療は専門外来があり、担当医の診療経験も豊富です。

### 小児脳神経外科



#### 診療内容

- ◆ 脳腫瘍・脊髄腫瘍
- ◆ 水頭症・二分脊椎症
- ◆ 位置的頭蓋変形・頭蓋骨縫合癒合症
- ◆ 頭部外傷、もやもや病、血管障害など

#### 得意分野・特色

先天性疾患から悪性新生物、血管障害、頭部外傷など様々な疾患に対し患児ご家族と真摯に向き合い、大学附属病院の小児脳神経外科として出来る最大限の医療を関連診療科と連携し提供します。ナビゲーションを用いた開頭手術や神経内視鏡手術など可能な限り低侵襲治療を目指し、外来では初診からその後まで成長を共に見守ります。

### 小児心臓外科



#### 診療内容

- ◆ 先天性心疾患(段階的姑息術～心内修復手術)
- ◆ 超低出生体重児(NICU内手術)
- ◆ 成人先天性心疾患

#### 得意分野・特色

小児科循環器班・新生児班、麻酔科、循環器内科、PICU、手術室、臨床工学部などと連携し部門横断的なチーム医療を推進しています。新生児、乳幼児から成人期へと、ライフステージで途切れない医療を提供しています。

### 形成外科



#### 診療内容

- ◆ 頭蓋顔面の先天異常
- ◆ 手足の先天異常
- ◆ 外傷や熱傷、瘢痕拘縮の治療
- ◆ 巨大母斑の治療や、レーザー治療

#### 得意分野・特色

頭蓋顔面の先天異常(唇顎口蓋裂、頭蓋骨縫合早期癒合症、耳介先天異常等)に対しては各成長段階に合わせた治療を、小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、歯科矯正科など協力し集学的治療を行います。手足先天異常は豊富な症例経験に基づき、整形外科やリハビリテーション科、作業療法士と連携した治療を行っています。

## その他の外科系小児診療 Other Departments

### 整形外科



#### 診療内容

- ◆ 関節疾患:先天性股関節脱臼
- ◆ 先天性内反足など足部病変
- ◆ 二分脊椎、脊椎側弯変形など
- ◆ 外傷の治療:骨折、脱臼など

#### 得意分野・特色

小児股関節疾患(先天性股関節脱臼とその治療後の遺残障害、ペルテス病、大腿骨頭すべり症など)や二分脊椎に伴う下肢の麻痺・筋力低下、下肢の変形、股関節脱臼、脊椎側弯変形など脊椎疾患の診療を各専門班が協力しながら診療を行っています。



詳細はこちら



### 眼科



#### 診療内容

- ◆ 斜視・弱視外来
- ◆ 涙器外来(先天性鼻涙管閉塞症)
- ◆ 未熟児網膜症部門
- ◆ 遺伝性網膜・視神経疾患、色覚異常

#### 得意分野・特色

小児期の目の病気は早期発見・早期治療が重要です。未熟児網膜症や、診断の難しい小児期の網膜変性、遺伝性疾患の診療にも力を入れております。あらゆる眼科疾患に対して、満足度の高い最先端医療をご提供できるように、高度専門知識を持ったスタッフが日々切磋琢磨して研究・臨床を行っています。

### 耳鼻咽喉・頭頸部外科



#### 診療内容

- ◆ 精密聴力検査
- ◆ 画像検査(CT、MRI)
- ◆ 遺伝子検査
- ◆ 療育

#### 得意分野・特色

難聴の早期発見と療育を目的に、聴覚スクリーニング検査を行っています。難聴児を早期発見する体制を整備しており、新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査機関に日本耳鼻咽喉科学会より認定されています。中耳炎や副鼻腔炎などの炎症性耳鼻科疾患や睡眠時無呼吸症候群に対する手術治療も積極的にを行っています。

### 皮膚科



#### 診療内容

- ◆ アトピー性皮膚炎、小児乾癬
- ◆ 神経線維腫症
- ◆ 毛細血管奇形、乳児血管腫
- ◆ 太田母斑、異所性蒙古斑

#### 得意分野・特色

アトピー性皮膚炎や尋常性乾癬・膿疱性乾癬に対する生物学的製剤による豊富な治療経験、関東唯一の症例数を誇る神経線維腫症の診断・検査・手術、血管腫や太田母斑・異所性蒙古斑に対するレーザー治療、パッチテストなどの各種アレルギー検査を行っています。

### 泌尿器科



#### 診療内容

- ◆ 小児泌尿器科疾患における診断・治療
- ◆ 神経泌尿器分野における診断・治療
- ◆ 二分脊椎グループ診療
- ◆ 膀胱尿管逆流症による腎盂腎炎予防

#### 得意分野・特色

二分脊椎のお子さんに対して、小児脳神経外科と共同で二分脊椎の手術前、手術後の膀胱機能・形態検査(ビデオウロダイナミクス検査)外来における導尿(排尿ケア外来)や洗腸(排便ケア外来)指導をしています。また、膀胱尿管逆流症による腎盂腎炎予防では、小児外科と共同でデフラック注入を実施しています。



## 診療支援部門〈看護部〉 Medical Support Department

### 産科看護



外来の妊娠早期から退院後の産褥期まで、継続したかかわりを行っています。疾患や治療に伴う様々な苦痛や不安に対して、女性のライフサイクルを踏まえた細やかな対応ができるよう日々研鑽を重ねています。患者さんの回復ができるだけ早く進むこと、治療を続けながらも患者さんの望む生活を送れることを目標に、医療チームが連携をとりながら、患者さんの支援を行っていきます。産後は沐浴指導や授乳特に母乳哺育への自立を高めるための「母児同室制」を取り入れています。退院後の生活指導は集団指導のほか、お母様の状況をふまえた個別指導も取り入れています。助産師・看護師スタッフが一丸となって妊婦さんとその家族そして新しく誕生した命を大切に関わっていきます。

### 小児看護



小児科一般床では、児の病状と成長・発達に合わせて病室を調整しています。入院という体験は苦痛を伴うものですが、安楽に過ごせるよう、発達段階に合わせた説明や遊びを通して看護しております。また、リハビリテーション、保育士の計画的な介入、在宅に向けた医療チームによる介入を実践しております。NICU、GCUでは早産低出生体重児の呼吸・循環の早期安定を目指すとともに、成長発達を見据えたディベロップメンタルケアやカンガルーケアを行っています。また、小児専門看護師や新生児集中ケア認定看護師による知識と技術の教育指導により、根拠に基づいた重症児の看護ケアを実践しています。



詳細はこちら  
をクリック



## 入院施設と診療体制

### 産科病棟・MFICU

#### 産科病棟の構成

入院病床：一般入院病床(28床：産後16床、産前12床)、母体胎児集中治療室(6床) 分娩部門：分娩室(3室)、陣痛室(6室)



ハイリスク分娩室



MFICU(母体胎児集中治療室)



分娩室



産科一般病室：個室



産科一般病室：大部屋



デイルーム

### 小児病棟・NICU・GCU・PICU

#### 小児病棟の構成

入院病床：小児一般病床(65床)、NICU(12床)、GCU(24床)、PICU(8床)の計109床 無菌室2床(血液腫瘍疾患、幹細胞移植など)



NICU(新生児集中治療室)



GCU(新生児治療回復室)



PICU(小児集中治療室)



小児科一般病室：大部屋



小児科一般病室：個室



無菌病室

新生児集中治療部門



小児集中治療部門



小児循環器チーム



小児がんチーム



小児総合診療チーム





## 母子医療センターへの患者さんのご紹介について

当院では、ご来院前に紹介元の医療機関(かかりつけ医)からFAX・WEB予約をされることを推奨しています。 ※WEB予約は母子医療センターの小児系診療科一部のみ予約が可能です。患者さんが当院での予約受診を希望された際は、かかりつけの医療機関からの予約申込が必要となります。患者さんから予約取得のご相談がありましたら予約申込のご協力をお願いいたします。予約を済まされている方は、当日の受付がスムーズになります。



検査や点滴が必要な急性期疾患の小児、小児系専門外来への受診の際は当院医療連携室経由で予約をお願いいたします。紹介状ご持参のみの際は、事前に母子医療センターにご連絡のうえ、ご来院の日時と担当医師を調整させていただきます。

## FAX・WEBからの予約方法

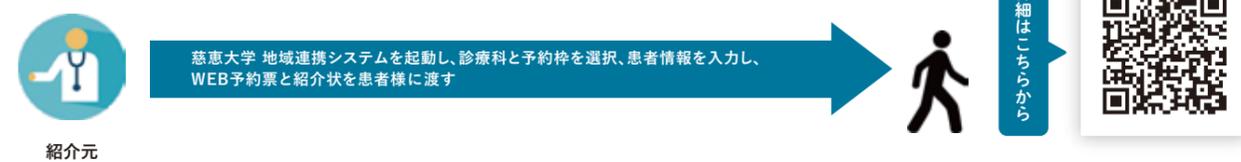
### 1 FAX予約

FAX予約はいずれの医療機関からでも予約可能です。詳細については下記QRコードよりご確認ください。



### 2 WEB予約

WEB予約は事前の登録・設定が必要になりますので、詳細については右記QRコードよりご確認ください。



## 救急及び時間外の連絡先について

【患者支援・医療連携センター 医療連携室】

平日・日中にご連絡いただく場合

TEL 03-5400-1202 (直通電話)

〈受付時間〉  
月～金曜日 9:00～18:30  
土曜日 9:00～17:00

FAX 03-5401-1879

【救急部】

夜間・休日にご連絡いただく場合

TEL 03-3433-1111 (代表)  
(内線3121～3)

〈受付時間〉  
月～金曜日 18:30～翌朝9:00  
土曜日 17:00～翌朝9:00

FAX 03-5400-1252

救急部専属医師を24時間体制で配置しております。救急受け入れをスムーズにするため、電話でのお問い合わせも専属医師が直接対応いたします。